

「プロジェクト事業者としての 取組について」

新潟県J-VER第1号
クレジットの取組

(社)新潟県農林公社



新潟県農林公社の事業と概要

(分収林事業の目的)

- ・ 森林資源の充実
- ・ 森林の多面的機能の向上
- ・ 地域社会への貢献



一般の森林所有者に代わり、植栽・保育管理を実施

- ✓ 県下の主要市町村において展開
- ✓ 森林の総管理面積は、10,206ha
昭和47年設立、職員数39人(内7名森林部門)

・公社造林の森林の管理

昭和48年から

- ・生産性の高い森林
- ・県土を守る健全な森林を育成



36年間の経験と技術の蓄積がある

・主な保育作業 (ha)

作業種	平成20年	平成21年
間伐	554	501

・公社造林の現況



カーボン・オフセット事業 に取り組んだ経緯

地球温暖化問題で吸収源としての森林は
= 森林の適正な持続的管理求められている

【課題】
森林整備(間伐)の促進

・森林の新たな価値の創出

↓
森林吸収部門のカーボン・オフセット事業が制度化

↓
可能性を秘めた新たな領域へのチャレンジ

「トキの森プロジェクト」の概要

2008年自然放鳥されたトキのいる佐渡をターゲット



- 名称 「トキの森」整備事業
- 種類 間伐促進型プロジェクト
- 実施期間 2008年4月～
2013年3月
- 実施場所 佐渡市内
- 対象面積 計 約151ha
- 吸収量 計 約6,377トン-CO2

プロジェクトの目的

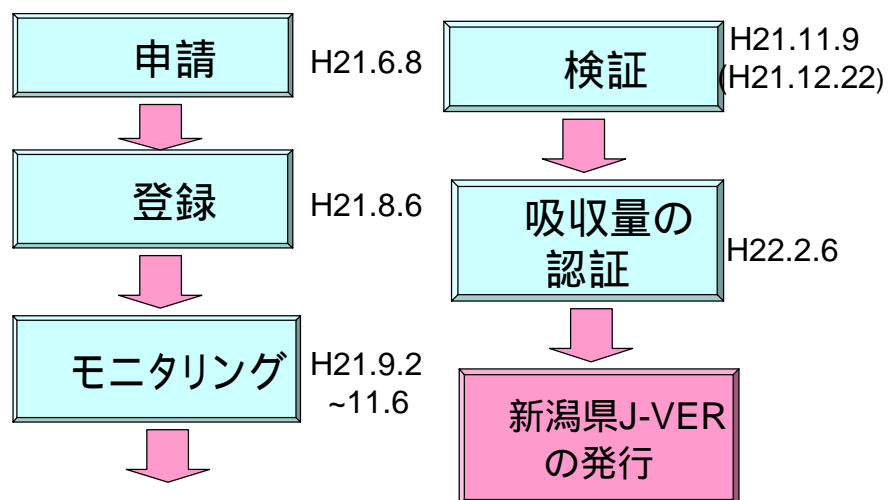
佐渡の森林において適切な間伐を行い、健全な森を育成することにより、次の目的を達成します。

CO2吸収量を確保し温暖化対策を推進。

放鳥されたトキの生息環境の向上や豊かな森林生態系の保全に寄与。

カーボン・オフセットの収益をもとに、佐渡の森林整備の促進と林業の活性化等を図る。

今年度の事業の経過



・モニタリングについて

【作業】

- ✓面積の確定
- ✓プロットによる成長量の調査



吸収量CO₂-tの算定

面積の確定



プロットによる成長量調査



・モニタリング結果

吸収量CO₂-tの算定は、

- ・担当業務の体制の整備
- ・研修
- ・機器の精度の保持
- ・測量、調査マニュアル
- ・算定時の入念なチェック



外部機関の検証



信頼のあるクレジットに！

森林管理者にとってのカーボン・オフセット

制度の特徴

- ・森林の環境的価値の評価
- ・公益的機能の貨幣価値化

- ・ISOに準拠した制度への厳格な対応

- ・クレジットの企業等への販売

取組のメリット

- ・森林経営に還元
- ・森林経営の社会的評価の向上
- ・経営意欲の醸成

- ・透明性と信頼性を確保して、社会に発信
- ・将来、森林経営の能力開発

- ・新たな企業等との連携
- ・新たなビジネスへの発展
- ・地域のPRや活性化

トキの森クレジットは

- ・新潟県 J - V E R 第 1 号のクレジット
- ・信頼性が認められています



全国で利用いただけるクレジットです

クレジット収益を活用します

- ・農林公社は
佐渡の森林整備を進めます。



【森林整備は】

- ・CO₂の吸収量を確保します
- ・トキをはじめとして、多様な生物が生息できる生態系を作り出します
- ・林業の活性化で地域に貢献します

